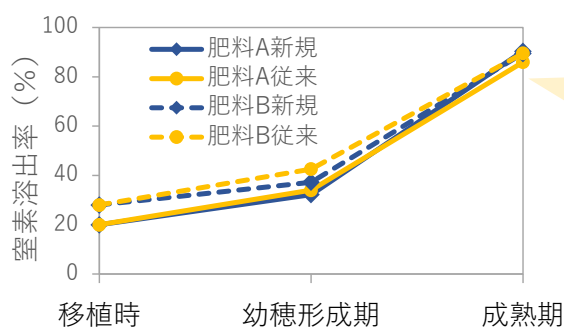


「コシヒカリ」に適用できる被膜のプラスチック量を削減した 全量基肥栽培用肥料

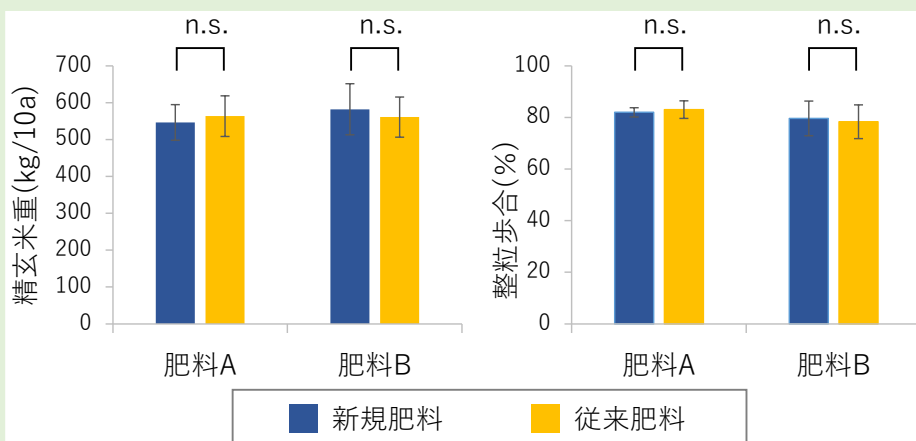
利用対象：水稻生産者、指導者

水稻の全量基肥栽培用肥料は、生育に合わせて成分を徐々に溶出させる必要があるため、プラスチックを含む被膜で覆われた肥効調節型肥料が配合されています。

プラスチックを含む被膜殻が圃場外へ流出すると環境への負荷が懸念されるため、県内の「コシヒカリ」栽培に使用されている主要な全量基肥栽培向け肥料2種類（A、B）について、肥料メーカーや農業関連団体と協力して改良に取り組み、収量と品質を維持しながらプラスチック量を最大40%削減しました。



新規肥料は、被膜のプラスチック量を減らしても窒素の溶出率（肥料の効き方）が従来肥料と変わらないように調整されている



従来肥料に比べて同等の収量と品質（整粒歩合）

伊賀市の試験でも同じ結果

新規肥料が精玄米重および整粒歩合に及ぼす影響

水稻「コシヒカリ」の松阪市における3年間（令和4、5、6年）の平均値
 図中エラーバーは標準偏差、n. s. はt検定により5%水準で有意差なしを示す
 移植日：（R4）4月22日、（R5）4月24日、（R6）4月22日

プラスチック量を減らしても従来肥料と同等の収量と品質を確保

お問い合わせ先	基盤技術研究室 フード・循環研究課	電話 0598-42-6351
	伊賀農業研究室 伊賀農業研究課	電話 0595-37-0211
	中央農業改良普及センター 普及企画室	電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重県農業研究所 成果情報一覧 詳細版 https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm	